

横浜市上大岡コミュニティハウス  
指定管理者選定委員会（第2回委員会）議事録要旨

開催日時	平成 30 年 8 月 27 日（月） 13 時 00 分から 15 時 20 分まで
開催場所	区役所 601 会議室
出席者	藤崎委員長（横浜市立大学 国際総合科学部准教授） 宮田 順子（東京地方税理士会横浜南支部 税理士） 木島 勝吉（上大岡平和台自治会 会長） 谷本 吉年（港南区スポーツ推進委員連絡協議会 会長） 吉岡 幸恵（港南区「街の先生」の会 会長）
傍聴者	0 名
議題	はじめに（横浜市上大岡コミュニティハウスの指定管理者の選定について） 1 面接審査 2 審議
面接審査 審議	1 面接審査 1 団体あたり、10 分間のプレゼンテーション及び 15 分程度の質疑応答を行った。団体のプレゼンテーションの概要は次のとおり。  <応募団体 A 特定非営利活動法人港南区レクリエーション協会> ・ 2 期 9 年間の実績を踏まえて、3 期も継続して運営を行いたい。 ・ 第 3 期は年間利用人数 4 万人、年間稼働率 70%を目標としたい。 ・ 区制 50 周年事業と開館 10 周年事業を組み合わせた自主事業を展開したい。 ・ これからも地域に愛され、居場所となる施設づくりをしたい。  <応募団体 B 一般社団法人こうなん区民利用施設協会> ・ 管理運営する 10 施設の情報共有及び情報交換を行う。 ・ 見守り・支え合いの地域拠点としての役割を果たすため、サロンの定期開催を検討する。 ・ 基本的には 1 人勤務体制であるが、夜間等については 2 人体制で対応する。 ・ 緊急時の対応のため、スタッフは通報ボタンを携帯させる。 ・ 印刷機やウォータークーラーの設置、飲料やウォーキングポイントの電池販売等ニーズに合わせたサービスを展開したい。 ・ 市重要施策に関する取組として働きやすい職場作りをする。 ・ 新電力会社への乗り換え等コストカットを行う。  2 審議 第 3 期横浜市上大岡コミュニティハウスの指定管理者を選定するにあたり、第 1 回選定委員会で定めた評価基準項目に則り評価を行った結果、特定非営利活動法人港南区レクリエーション協会を指定候補者として選定した。

	<p><b>【委員の主な意見】</b></p> <p>&lt;応募団体A 特定非営利活動法人港南区レクリエーション協会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・団体規模が小さく、資金面で不安要素はあるが、引き続き健全な施設運営を行い、収支を保つことができれば特定非営利活動法人としての役割を担うことは可能である。財務状況の安定が今後の課題と言える。</li> <li>・今までの実績を踏まえて、3期に対する具体的な提案があった。利用人数や稼働率も着実に増やしている。このまま見守りたい。</li> <li>・団体規模が小さいなりに、人的にも財政的にも一生懸命運営していると思う。</li> <li>・上大岡の特色を理解し、自主事業も半数近く新規事業を提案するなど運営に対して意欲がみられる。一方で指定管理を含め、管理運営施設が3施設と少ないため、ノウハウを高める機会が少ないのではないかと。また、雑収入増加に対する提案があると良かった。</li> </ul> <p>&lt;応募団体B 一般社団法人こうなん区民利用施設協会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資金面に余裕があるが、資産ストックを増加させるだけでなく市民還元を考えていくことが必要ではないかと。</li> <li>・団体規模が大きいためスケールメリットがある。</li> <li>・総合力は優れているが、協会として画一化され、提案内容に地域特性を踏まえた上大岡コミュニティハウスとしての独自性が感じられなかった。</li> <li>・収支予算書の中でも、自主事業収入額より雑収入額が大きい点が気になった。</li> </ul>
<p>審議結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定非営利活動法人港南区レクリエーション協会を第3期横浜市上大岡コミュニティハウス指定管理者の指定者とする（584点/750点）。</li> <li>・一般社団法人こうなん区民利用施設協会を次点候補者とする（528点/725点）。</li> </ul>
<p>特記事項</p>	